

Roland

VC-1-SC VIDEO CONVERTER

取扱説明書

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」(P.2)と「使用上のご注意」(P.6)をよくお読みください。また、本機の優れた機能を十分ご理解いただくためにも、取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書は必要なときにすぐに見ることができるよう、手元に置いてください。



Scan Converter

安全上のご注意

火災・感電・傷害を防止するには

△警告と△注意の意味について

 警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
 注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表しています。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表しています。具体的な注意内容は、△の中に描かれています。左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘は、禁止（してはいけないこと）を表しています。具体的な禁止内容は、⊘の中に描かれています。左図の場合は、「分解禁止」を表しています。
	●は、強制（必ずすること）を表しています。具体的な強制内容は、●の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

----- 以下の指示を必ず守ってください -----

警告

完全に電源を切るときは、コンセントからプラグを抜く

完全に電源を切る必要があるときは、コンセントからプラグを抜いてください。そのため、電源コードのプラグを差し込むコンセントは、本機にできるだけ近い、すぐ手の届くところのものを使用してください。



AUTO OFF 機能について

本機は、入力がない状態で一定時間経過すると自動的に電源が切れます（AUTO OFF 機能）。自動的に電源が切れないようにするには、AUTO OFF 機能を解除してください(P.12)。



分解や改造をしない

取扱説明書に書かれていないことはしないでください。故障の原因になります。



警告

個人で修理や部品交換はしない

必ずお買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。



次のような場所で使用や保管はしない

- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- 湯気や油煙が当たる場所
- 塩害の恐れがある場所
- 雨に濡れる場所
- ほこりや砂ぼこりの多い場所
- 振動や揺れの多い場所



 **警告**

不安定な場所に設置しない

転倒や落下によって、けがをする恐れがあります。



付属の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。



付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。



電源コードを傷つけない

火災や感電の原因になります。



大音量で長時間使用しない

大音量で長時間使用すると、難聴になる恐れがあります。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。



異物や液体を入れない、液体の入った容器を置かない

本機に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。また、この機器の上に液体の入った容器（花瓶など）を置かないでください。ショートや誤動作など、故障の原因となることがあります。



 **警告**

異常や故障が生じたときは電源を切る

次のような場合は、直ちに AC アダプターをコンセントから抜き、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに修理を依頼してください。



- AC アダプター本体や電源コードが破損したとき
- 煙が出たり、異臭がしたりしたとき
- 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
- 機器が（雨などで）濡れたとき
- 機器に異常や故障が生じたとき

お子様がけがをしないように注意する

お子様のいる場所で使用する場合やお子様を使用する場合、必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。



落としたり、強い衝撃を与えたりしない

破損や故障の原因になります。



タコ足配線はしない

発熱、発火する恐れがあります。



海外でそのまま使用しない

海外で使用する場合は、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。



安全上のご注意

⚠ 注意

風通しのよい場所に設置する

本機と AC アダプターは、風通しのよい、正常な通気が保たれている場所に設置して、使用してください。



電源コードはプラグを持って抜く

断線を防ぐため、電源コードを機器本体やコンセントから抜くときは、必ずプラグを持ってください。



電源プラグを定期的に掃除する

電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりがたまると、火災や感電の原因になります。

定期的に電源プラグを抜き、乾いた布でゴミやほこりを拭き取ってください。



長時間使用しないときは電源プラグを抜く

万一故障したとき、火災の原因になります。



電源コードやケーブルは煩雑にならないように配線する

足に引っかけると、本機の落下や転倒などにより、けがの原因になることがあります。



上に乗ったり、重いものを置いたりしない

転倒や落下によって、けがをします。恐れがあります。



⚠ 注意

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない感電の原因になります。



移動するときはすべての接続をはずす

本機を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、外部機器との接続をはずしてください。



お手入れするときは電源プラグをコンセントから抜く

コンセントから抜いておかないと感電の原因になります。



落雷の恐れがあるときは電源プラグをコンセントから抜く

コンセントから抜いておかないと故障や感電の原因になります。



小さな部品はお子様の手の届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪く誤って飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。



- ・ 付属品
ゴム足 (P.8)

接地端子の取り扱いに注意する

接地端子ネジは、お子様が誤って飲み込んだりすることのないよう取りはずした状態で放置しないでください。再度ネジを取り付ける際は、ゆるんではずれないように確実に取り付けてください。



 **注意**

やけどしないように注意する

本体は高温になりますので、やけどしないよう注意してください。



使用上のご注意

電源について

- 本機を、インバーター制御の製品やモーターを使った電気製品（冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、エアコンなど）と同じコンセントに接続しないでください。電気製品の使用状況によっては、電源ノイズで本機が誤動作したり、雑音が発生したりすることがあります。電源コンセントを分けることが難しい場合は、電源ノイズ・フィルターを取り付けてください。
- AC アダプターは長時間使用すると多少発熱しますが、故障ではありません。

設置について

- 本機の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えてください。
- 本機をテレビやラジオの近くで動作させると、テレビ画面に色ムラが出たりラジオから雑音が出たりすることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 本機の近くで携帯電話などの無線機器を使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、無線機器を本機から遠ざけるか、電源を切ってください。
- 極端に温湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴が付く（結露する）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になります。数時間放置して、結露がなくなってから使用してください。
- 設置条件（設置面の材質、温度など）によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。ゴム足の下にフェルトなどの布を敷くと、安心してお使いいただけます。この場合、本機が滑って動いたりしないことを確認してからお使いください。

- 本機の上に液体の入った容器などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、速やかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、固く絞った布で汚れを拭き取ってください。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 変色や変形の原因となる、ベンジン、シンナー、アルコール類は使用しないでください。

修理について

- お客様が本機または付属品を分解（取扱説明書に指示がある場合を除く）、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合があります。
- 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリ一部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記録内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- 故障の原因になりますので、スイッチ、入出力端子に過度の力を加えないでください。
- ケーブルを抜くときは、ショートや断線を防ぐため、プラグ部分を持って引き抜いてください。
- 周囲に迷惑がかからないように、音量に十分注意してください。
- 輸送や引っ越しをするときは、本機を緩衝材などで十分に梱包してください。そのまま移動すると、傷、破損、故障の原因になります。
- 本機が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄するときは、各地域のゴミの分別基準に従ってください。

知的財産権について

- 第三者の著作物（音楽作品、映像作品、放送、実演、その他）の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。
- 第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。
- MMP (Moore Microprocessor Portfolio) はマイクロプロセッサのアーキテクチャーに関する TPL (Technology Properties Limited) 社の特許ポートフォリオです。当社は、TPL 社よりライセンスを得ています。
- Roland は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。

同梱物を確認する

以下のものが同梱されています。すべてそろっているかご確認ください。同梱物に不足があった場合には、お買い上げ店までご連絡ください。

VC-1-SC 本体



取扱説明書 (本書)



AC アダプターおよび電源コード



ローランド ユーザー登録カード

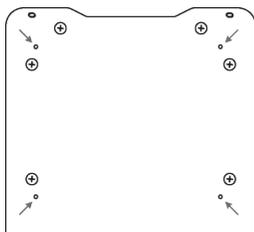


ゴム足



※ ゴム足はひとつのパッドにまとまっています。取りはずしてお使いください。

※ 必要に応じて底面の以下の位置に貼り付けてください。



保証書



目次

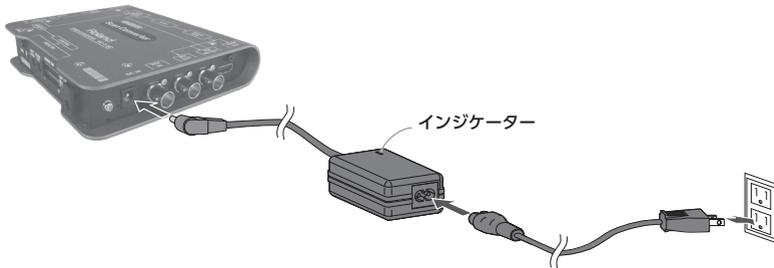
安全上のご注意.....	2
使用上のご注意.....	6
同梱物を確認する	8
電源について	10
AC アダプターを接続する.....	10
電源コードの固定について.....	11
電源を入れる／切る.....	12
AUTO OFF について	12
各部の名称とはたらき	13
フロント・パネル	13
リア・パネル	14
サイド・パネル	15
インジケータの点灯色／動作.....	16
入出力フォーマットについて.....	18
入力フォーマット	18
出力フォーマット	20
外部機器を接続する	21
ソース機器を接続する.....	21
出力機器を接続する.....	23
リモート・コントロール用のパソコンを接続する.....	24
動作モードを設定する.....	25
資料.....	27
主な仕様.....	27
寸法図.....	29
故障かな？と思ったら.....	30

電源について

AC アダプターを接続する

下図のように AC アダプターを接続します。

AC アダプターは、インジケーター（図参照）のある面が上になるように設置してください。AC アダプターをコンセントに接続すると、インジケーターが点灯します。



接地端子について

設置条件によっては、本機や本機に接続した機器の金属部に触れると、ビリビリとした感じがする場合があります。これは人体にまったく害のない極めて微量の帯電によるものですが、気になるかたは接地端子（図参照）を使って外部のアースか大地に接地してお使いください。このとき、わずかにハム（うなり）が混じる場合があります。なお、接続方法がわからないときはローランドお客様相談センターにご相談ください。



接続してはいけないところ

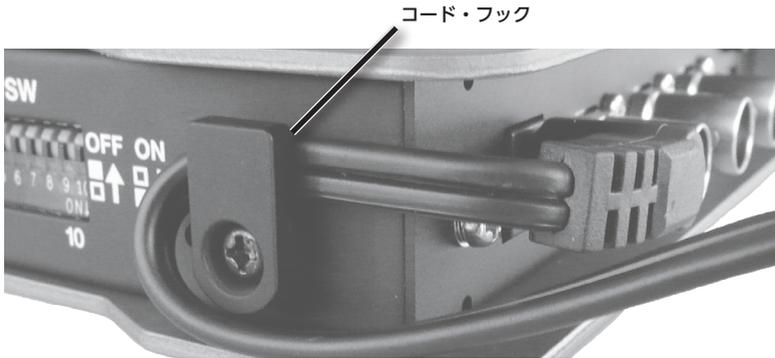
- 水道管（感電の原因になります）
- ガス管（爆発や引火の原因になります）
- 電話線のアースや避雷針（落雷のとき危険です）

電源コードの固定について

以下の2種類の方法で電源コードを固定することができます。誤ってコードを引っ張ってしまっても、プラグが抜けて電源が切れてしまうことや、DC IN端子に無理な力がかかることを防ぐことができます。

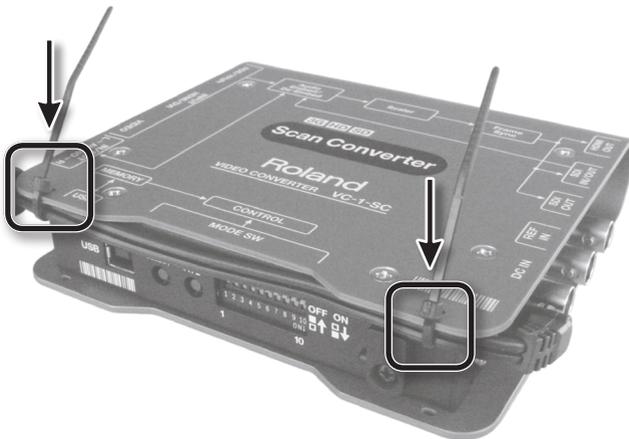
コード・フックで固定する

以下のように固定することができます。



トップ／ボトム・パネルの穴を使って固定する

トップ・パネルまたはボトム・パネルの穴を使って、以下のように固定することもできます。



電源について

電源を入れる／切る

正しく接続したら、必ず次の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。

※ 本機は回路保護のため、電源をオンにしてからしばらくは動作しません。

※ 電源を入れる／切るときは、接続した機器の音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときにオーディオ出力から音がすることがありますが、故障ではありません。

電源を入れる

1. 周辺機器と接続する

ビデオ・カメラなどの機器と接続します。他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、すべての機器の電源を切ってください。

2. 本機の電源を入れる

電源コードを差し込むと本機が起動します。

3. 外部機器の電源を入れる

本機に接続した外部機器の電源を入れます。

電源を切る

1. 外部機器の電源を切る

本機に接続した外部機器の電源を切ります。

2. 本機の電源を切る

電源コードを抜くと本機の電源が切れます。

AUTO OFF について

本機は、以下の状態で 240 分経過すると自動的に電源が切れます。

- ・ モード・スイッチ (MODE SW) の 10 (CONTROL) が「ON」になっている。
- ・ USB でパソコンと接続されていない。
- ・ ビデオの入力がない。
- ・ オーディオの入力がない。

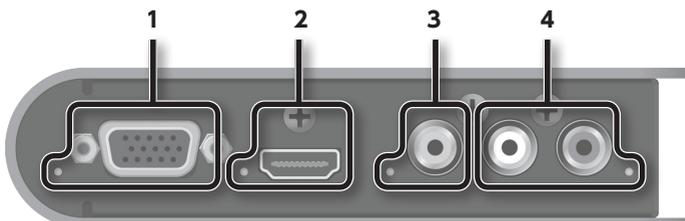
再度電源を入れるには、電源コードの抜き挿しをしてください。

※ AUTO OFF 機能を無効にするには、モード・スイッチの 10 (CONTROL) を「OFF」に設定してください。(P.26)

専用のリモート・コントロール・ソフトウェア (VC-1 RCS) を使って設定を変えることもできます。(P.24)

各部の名称とはたらき

フロント・パネル



参照

各インジケータの点灯色や点灯/点滅については、「インジケータの点灯色/動作」(P.16)をご覧ください。

1. RGB/YPbPr INPUT 端子/インジケータ

パソコンの RGB 信号やビデオ・カメラなどのアナログ・コンポーネント信号を接続します。

2. HDMI/DVI INPUT 端子/インジケータ

ビデオ・カメラなど、HDMI のソース機器を接続します。
変換ケーブルを使って、パソコンの DVI-D 信号も入力できます。

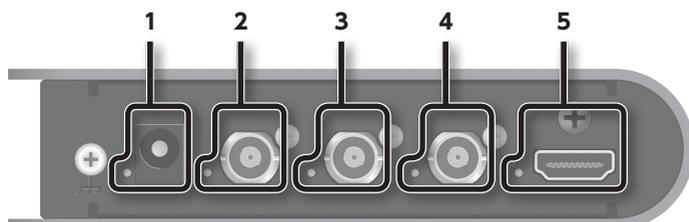
3. VIDEO INPUT 端子/インジケータ

ビデオ・カメラなどのコンポジット信号を接続します。

4. AUDIO IN/OUT 端子/インジケータ

ビデオ・カメラのオーディオ信号などを接続します。
モード・スイッチ 1 (MODE SW 1) の操作により、入力 (エンベッド) と出力 (デ・エンベッド) を切り替えることができます (P.25)。

リア・パネル



1. DC IN 端子／インジケータ

付属の AC アダプターを接続します。インジケータは電源が入っていると点灯します。

2. REF IN 端子／インジケータ

同期用のクロック・ソース機器を接続します。

※ 対応する同期信号を入力すると、フレーム・シンクロナイザーとして動作します。

3. SDI OUT 端子／インジケータ

ビデオ・デッキやモニターなど、SDI 入力を持つ機器を接続します。

4. SDI IN/OUT 端子／インジケータ

SDI 入力を選択した場合に入力として、それ以外の場合に出力として動作します。

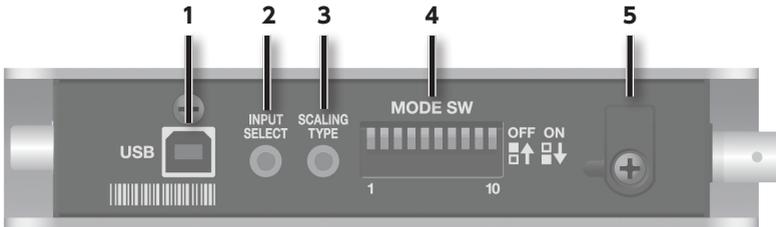
入力の場合、ビデオ・カメラなど、SDI のソース機器を接続します。

出力の場合、ビデオ・デッキやモニターなど、SDI 入力を持つ機器を接続します。

5. HDMI OUT 端子／インジケータ

テレビ・モニターなど、HDMI 入力を持つ機器を接続します。

サイド・パネル

**1. USB 端子**

リモート・コントロール用のパソコンを接続します (P.24)。

※ 本機のリモート・コントロールには、専用ソフトウェア (VC-1 RCS) をダウンロードしてパソコンにインストールする必要があります。専用ソフトウェアは以下のローランド・ホームページからダウンロードすることができます。

<http://www.roland.co.jp/solution/>

2. 入力選択スイッチ (INPUT SELECT)

押すたびに、入力する端子が切り替わります。「動作モードを設定する」(P.25) をご覧ください。

※ 押しにくい場合は、先の細いペンなどを使ってスイッチを押してください。

3. スケーリング・タイプ切り替えスイッチ (SCALING TYPE)

押すたびに、画面のアスペクト (スケーリング) が切り替わります。「動作モードを設定する」(P.25) をご覧ください。

※ 押しにくい場合は、先の細いペンなどを使ってスイッチを押してください。

4. モード・スイッチ (MODE SW)

本機の動作モードを設定します。「動作モードを設定する」(P.25) をご覧ください。

※ 先の細いペンなどを使って、スイッチを動かしてください。

5. コード・フック

ACアダプターのコードを固定します。「電源コードの固定について」(P.11) をご覧ください。

各部の名称とはたらき

インジケータの点灯色／動作

SDI IN/OUT

赤	SD-SDI 入出力時	
オレンジ	HD-SDI 入出力時	
緑	3G-SDI 入出力時	
SDI IN	点灯	正常入力時
	点滅	入力端子選択時（未入力）
SDI OUT	点灯	正常出力時
	点滅	正常出力できない

HDMI IN/OUT

赤	RGB 入出力時
オレンジ	YCC 444 入出力時
緑	YCC 422 入出力時
点滅	HDCP 非対応などで入出力できない、または入力端子選択時（未入力）
消灯	入力端子非選択時

AUDIO IN/OUT

緑／点灯	-24dB 入出力時
赤／点灯	-6dB 入出力時

REF IN

点灯	ソース機器からのクロックにロックしている
点滅	非対応のクロックが入力されている
消灯	REF IN からの入力がない（映像入力にロックまたはフリーラン）

RGB/YPbPr IN

赤	RGB 入力時
緑	YPbPr 入力時
点滅	入力端子選択時（未入力）
消灯	入力端子非選択時

VIDEO IN

点灯	信号入力時
点滅	入力端子選択時（未入力）
消灯	入力端子非選択時

入出力フォーマットについて

入力フォーマット

RGB/YPbPr IN 端子

YPbPr	1920 × 1080	60p、59.94p、50p、60i、59.94i、50i、24PsF、23.98PsF
	1280 × 720	60p、59.94p、50p
	720 × 480	59.94p、59.94i
	720 × 576	50p、50i
RGB	640 × 480	60、72、75、85Hz
	800 × 600	56、60、72、75、85Hz
	1024 × 768	60、70、75、85Hz
	1280 × 768	60、75、85Hz
	1360 × 768	60Hz
	1152 × 864	75Hz
	1400 × 900	60、75、85Hz
	1280 × 960	60、85Hz
	1280 × 1024	60、75Hz
	1400 × 1050	60、75Hz
	1680 × 1050	60Hz
	1600 × 1200	60Hz
1920 × 1200	60Hz Reduced blanking	

※ RGB IN は VESA DMT Version 1.0 Revision 11 準拠のみ対応

SDI IN 端子

ビデオ	1920 × 1080	60p、59.94p、50p、30p、29.97p、25p、24p、23.98p、60i、59.94i、50i、24PsF、23.98PsF
	1280 × 720	60p、59.94p、50p、30p、29.97p、25p、24p、23.98p
	720 × 487	59.94i
	720 × 576	50i
オーディオ	リニア PCM、24 ビット / 48kHz、16ch	

HDMI/DVI IN 端子

HDMI	1920 × 1080	60p、59.94p、50p、30p、29.97p、25p、24p、23.98p、60i、59.94i、50i
	1280 × 720	60p、59.94p、50p、30p、29.97p、25p、24p、23.98p
	720 × 480	59.94p、59.94i
	720 × 576	50p、50i
DVI	640 × 480	60、72、75、85Hz
	800 × 600	56、60、72、75、85Hz
	1024 × 768	60、70、75、85Hz
	1280 × 768	60、75、85Hz
	1360 × 768	60Hz
	1152 × 864	75Hz
	1400 × 900	60、75、85Hz
	1280 × 960	60、85Hz
	1280 × 1024	60、75Hz
	1400 × 1050	60、75Hz
	1680 × 1050	60Hz
	1600 × 1200	60Hz
	1920 × 1200	60Hz Reduced blanking
オーディオ	リニア PCM、24 ビット／48kHz、8ch	

※ 本機は HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection system) に対応しています。HDCP のかかった信号が入力されると、出力できるのは HDMI OUT 端子のみとなり、SDI OUT 端子や AUDIO OUT 端子からの出力は止まります。

VIDEO IN 端子

ビデオ	NTSC、PAL
-----	----------

AUDIO IN 端子

アナログ・オーディオ	規定入力レベル	-6dBV
	ノン・クリップ最大入力レベル	+6dBV
	入力インピーダンス	22k Ω

入出力フォーマットについて

出力フォーマット

SDI OUT 端子

ビデオ	1920 × 1080	59.94p、50p、59.94i、50i
	1280 × 720	59.94p、50p
	720 × 487	59.94i
	720 × 576	50i
オーディオ	リニア PCM、24 ビット / 48kHz、2ch	

HDMI OUT 端子

ビデオ	1920 × 1080	59.94p、50p、59.94i、50i
	1280 × 720	59.94p、50p
	720 × 480	59.94i
	720 × 576	50i
オーディオ	リニア PCM、24 ビット / 48kHz、2ch	

AUDIO OUT 端子

アナログ・オーディオ	規定出力レベル	-6dBV
	ノン・クリップ最大出力レベル	+6dBV
	出カインピーダンス	2.2k Ω

外部機器を接続する

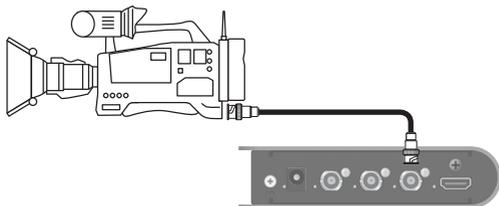
メモ

各種動作モードについては、「動作モードを設定する」(P.25)をご覧ください。

ソース機器を接続する

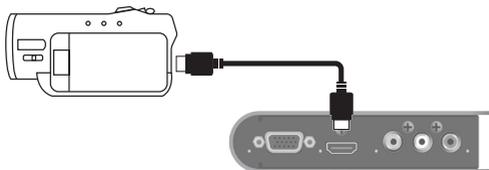
SDI 機器を接続する

ビデオ・カメラなど、SDI 出力を持つ機器を SDI IN 端子に接続します。



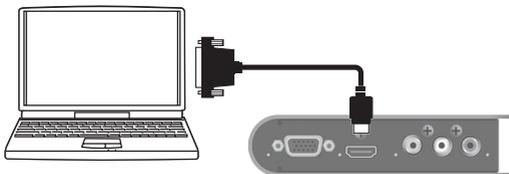
HDMI 機器を接続する

ビデオ・カメラなど、HDMI 出力を持つ機器を HDMI/DVI INPUT 端子に接続します。



DVI 機器を接続する

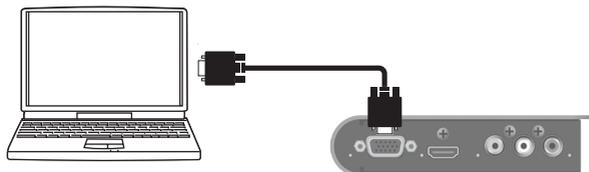
変換ケーブルを使って、パソコンなどの DVI 出力を持つ機器を HDMI/DVI INPUT 端子に接続します。



外部機器を接続する

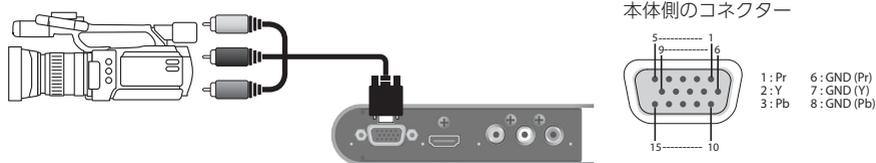
RGB 機器を接続する

パソコンなど、RGB 出力を持つ機器を RGB/YPbPr INPUT 端子に接続します。



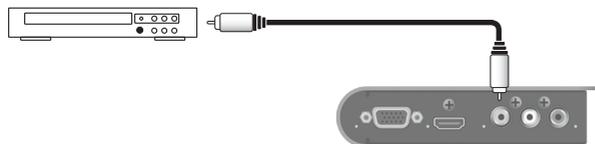
コンポーネント機器を接続する

変換ケーブルを使って、コンポーネント出力を持つ機器を RGB/YPbPr INPUT 端子に接続します。



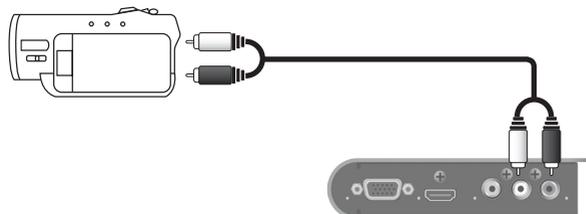
コンポジット機器を接続する

コンポジット出力を持つ機器を、VIDEO INPUT 端子に接続します。



オーディオのソース機器を接続する

ビデオ・カメラなどのアナログのオーディオ出力を、AUDIO IN 端子に接続します。

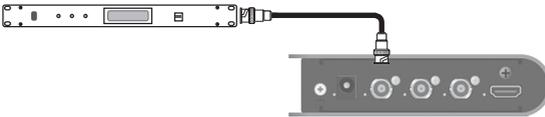


MODE SW 1 (P.25) を [OFF] にして、AUDIO IN 端子に切り替えてください。

クロックのソース機器を接続する

同期用のクロック・ソース機器を REF IN 端子に接続します。本機は以下の外部クロックに対応しています。

- ・ブラック・バースト
- ・2 値同期、3 値同期



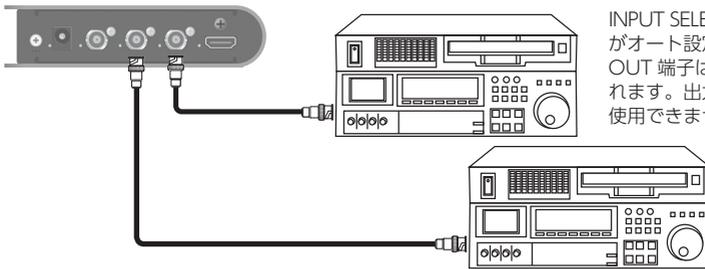
【注意！】

映像の入った信号を入力しないでください。同期が外れる場合があります。

出力機器を接続する

SDI 機器を接続する

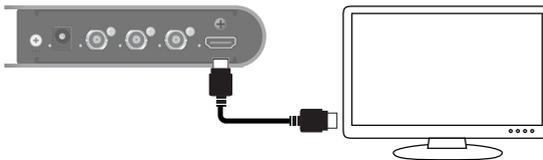
ビデオ・デッキなど、SDI 入力を持つ機器を SDI OUT 端子に接続します。



INPUT SELECTスイッチ(P.25)がオート設定の場合、SDI IN/OUT 端子は入力端子に固定されます。出力端子としてはご使用できません。

HDMI 機器を接続する

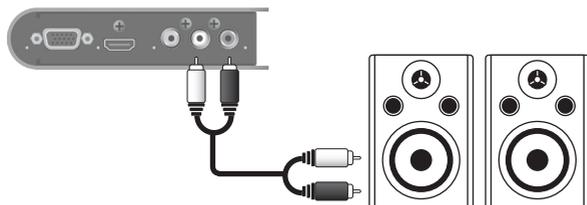
テレビ・モニターなど、HDMI 入力を持つ機器を HDMI OUT 端子に接続します。



外部機器を接続する

オーディオの出力機器を接続する

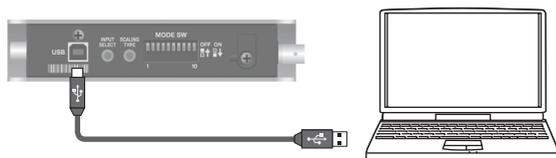
アンプ付きスピーカーなどを、AUDIO OUT 端子に接続します。



MODE SW 1 (P.25) を「ON」にして、AUDIO OUT 端子に切り替えてください。

リモート・コントロール用のパソコンを接続する

USB 端子に、リモート・コントロール用のパソコンを接続します。



※ 本機のリモート・コントロールには、専用ソフトウェア (VC-1 RCS) をダウンロードしてパソコンにインストールする必要があります。専用ソフトウェアは、以下のローランド・ホームページからダウンロードすることができます。

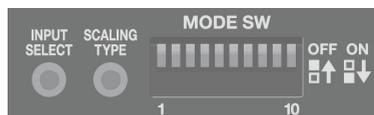
<http://www.roland.co.jp/solution/>

メモ

VC-1 RCS を使うと、本体のモード・スイッチではできない詳細な設定ができるようになります。設定した内容は、本体の内蔵メモリーに保存されます。パソコンを接続せず、本体のみで使う場合も、保存した設定を利用することができます。

動作モードを設定する

サイド・パネルの各スイッチで、本機の動作モードを設定します。工場出荷時には、MODE SW 10のみが「ON」に設定されています。設定を変更する場合は、あらかじめMODE SW 10を「OFF」にしてください。



INPUT SELECT スイッチ

押すたびに、入力する端子が以下のように切り替わります。

オート → SDI IN → HDMI/DVI IN → RGB/YPbPr IN → VIDEO IN → オート …

※ 現在選択されている端子のインジケータが点滅または点灯します。

【ご注意!】

オート設定の場合、SDI IN/OUT 端子は入力端子に固定されます。出力端子としてはご使用できません。また、オート設定で複数の入力端子を同時に接続しないでください。

SCALING TYPE スイッチ

押すたびに、画面のアスペクト（スケーリング）が以下のように切り替わります。

フル（入出力のアスペクトの違いにかかわらず、全画面を出力します）

→ レター・ボックス（入出力のアスペクトの違いにより、黒味を入れます）

→ クロップ（入出力のアスペクトの違いにより、画面の一部をカットします）

→ ドット・バイ・ドット（スケーリング処理をしないでそのまま出力します）

→ フル …

MODE SW 1

オーディオの入出力（エンベッドする／デ・エンベッドする）を決めます。

OFF	オーディオ端子を入力（エンベッド）として使用します。
ON	オーディオ端子を出力（デ・エンベッド）として使用します。

MODE SW 2

SDI オーディオのエンベッド／デ・エンベッドするグループを決めます。

OFF	グループ 1 とグループ 2 の 8 チャンネル
ON	グループ 3 とグループ 4 の 8 チャンネル

MODE SW 3 / 4

オーディオのエンベッド／デ・エンベッドするチャンネルを決めます。

3	OFF	4	OFF	チャンネル 1 とチャンネル 2
3	ON	4	OFF	チャンネル 3 とチャンネル 4
3	OFF	4	ON	チャンネル 5 とチャンネル 6
3	ON	4	ON	チャンネル 7 とチャンネル 8

動作モードを設定する

MODE SW 5

出力のフレーム・レートを決めます。

OFF	59.94Hz
ON	50Hz

MODE SW 6 / 7

出力の解像度を決めます。

6	OFF	7	OFF	SD 解像度で出力します。
6	ON	7	OFF	1280 × 720 のプログレッシブ解像度で出力します。
6	OFF	7	ON	1920 × 1080 のインターレース解像度で出力します。
6	ON	7	ON	1920 × 1080 のプログレッシブ解像度で出力します。

MODE SW 8

コンポジット入力、SD コンポーネント入力のセットアップ・レベルを決めます。

※ NTSC 入力、480i 入力でのみ有効です。

OFF	主に日本で使用します。
ON	主に日本以外の NTSC 圏で使用します。

MODE SW 9

SDI OUT 端子の 3G-SDI のタイプを決めます。

※ SDI IN 端子は自動検出となります。

OFF	3G-SDI をレベル A で出力します。
ON	3G-SDI をレベル B で出力します。

MODE SW 10

コントロール・モードを決めます。

※ このスイッチで AUTO OFF の設定 (P.12) も変更します。

OFF	本機のモード・スイッチ 1～9 の操作でコントロールします。
ON	本体内蔵のメモリー設定に従って動作します (専用ソフト VC-1 RCS で設定します)。

主な仕様

入出力フォーマット

「入出力フォーマットについて」(P.18) をご覧ください。

入力端子

SDI	BNC タイプ × 1 (出力端子の 1 つと兼用)
HDMI/DVI	Type A (19 ピン) × 1
RGB/YPbPr	15 ピン・ミニ D-sub タイプ × 1
VIDEO	RCA ピン・タイプ × 1
AUDIO	RCA ピン・タイプ × 1 ペア (L/R) (出力端子と兼用)

出力端子

SDI	BNC タイプ × 2 (1 つは入力端子と兼用)
HDMI	Type A (19 ピン) × 1
AUDIO	RCA ピン・タイプ × 1 ペア (L / R) (入力端子と兼用)

その他の端子

リファレンス (REF IN)	BNC タイプ × 1
USB	タイプ B (Hi-Speed USB) × 1

信号規格

SDI	SMPTE 424M (SMPTE 425M-AB)、SMPTE 292M、SMPTE 259M-C
リファレンス	ブラック・バースト、2 値 / 3 値

資料

信号レベル／インピーダンス

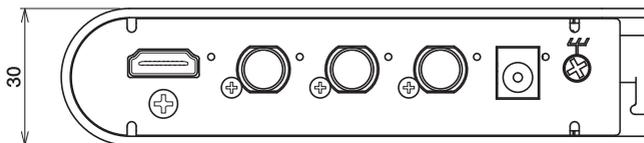
オーディオ	規定入出力レベル	-6dBV
	ノン・クリップ最大入出力レベル	+6dBV
	入力インピーダンス	22k Ω
リファレンス (REF IN)	入力インピーダンス	75 Ω

その他

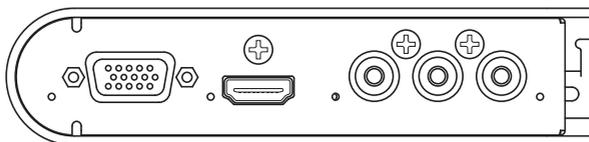
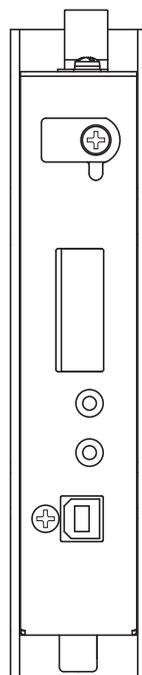
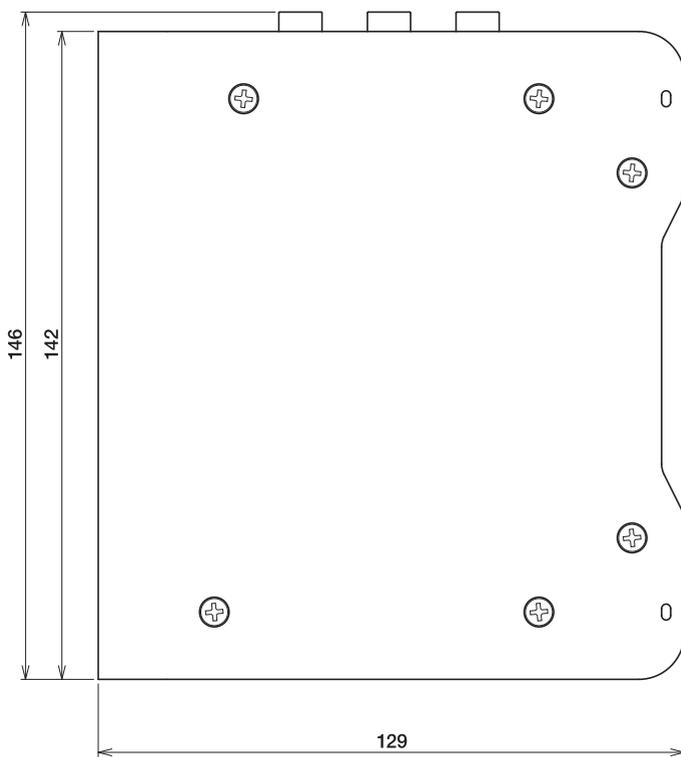
電源	DC 9V (AC アダプター)
消費電力	18W
外形寸法	150 (幅) × 130 (奥行) × 30 (高さ) mm
質量	500g (AC アダプターを除く)
動作温度範囲	$\pm 0 \sim +40^{\circ}\text{C}$
付属品	AC アダプター、電源コード、ゴム足 × 4 個、取扱説明書、保証書、 ローランド ユーザー登録カード

※ 製品の仕様や外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

寸法図



単位：mm



故障かな?と思ったら

SDI OUT 端子から出力されない

HDMI INPUT 端子に HDCP のかかった信号が入力されていませんか？
本機 HDCP に対応しており、HDCP のかかった信号が入力された場合は、SDI OUT 端子からの出力は止まります。この場合は HDMI OUT 端子からのみ出力されます。

HDMI IN 端子に入力した音声が出力されない

接続した HDMI のソース機器はリニア PCM 出力に対応していますか？
本機はリニア PCM の 48kHz にのみ対応しています。このため、他のフォーマットで入力された場合は、音声が出力されないことがあります。

操作しなかったら電源が切れた

AUTO OFF 機能が ON になっていませんか？
工場出荷時の状態では、AUTO OFF 機能が ON になっています。長時間電源を入れたまままで使用する場合は、モード・スイッチの 10 を「OFF」にし、AUTO OFF 機能を OFF にしてください。

モード・スイッチによる設定変更ができない

モード・スイッチの 10 が「ON」の位置にありませんか？
設定を変更する場合には、必ず 10 を「OFF」にしてください。

AUDIO IN/OUT 端子に接続した機器の音量が小さい

抵抗入りの接続ケーブルを使用していませんか？
抵抗の入っていない接続ケーブルをご使用ください。

MEMO



お問い合わせの窓口

- 製品に関するお問い合わせ先

ローランドお客様相談センター **050-3101-2555**

電話受付時間： 月曜日～金曜日 10:00～17:30 (弊社規定の休日を除く)

※IP電話からおかけになって繋がらない場合には、お手数ですが、電話番号の前に"0000"
(ゼロ4回)をつけてNTTの一般回線からおかけいただくか、携帯電話をご利用ください。

※上記窓口の名称、電話番号等は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

- 最新サポート情報

製品情報、イベント／キャンペーン情報、サポートに関する情報など

ローランド・ホームページ <http://www.roland.co.jp/>

'13.04.01 現在 (Roland)

